

■□要旨■□

1. 中貝市長の目指す所

豊岡市を『小さな世界都市』にすることを目標に『受け継いできたものを守る。』、『環境都市』、『市民(子供)を育てる。』、『豊岡市を知ってもらう。』、『交通インフラ整備』の5つの施策に基づき、コウノトリの育成、歴史を引き継ぐ街づくりなど様々な具体策を実践し、大きな成果をあげている。

2. 中貝市長の履歴

兵庫県職員時代に県議員である父の地盤を引き継ぎ、9年間県議員を務め、その後、決定権のある立場で街を変えていきたいと考え、豊岡市長となる。以降12年間市長を務め、現在も現職豊岡市長として豊岡市と市民の発展への情熱を持ち続け、活動中。

3. コウノトリの育成からコウノトリの生息可能な街づくりへ

1965年にスタートし、2005年にコウノトリを自然に返すまでに40年間。その後の生息地の整備、生息環境の改善の為に無農薬農法を推進。実現が不可能と思われていたコウノトリの育成を情熱を持ってやり続け、実現したことにより、市民の共感を得て、価値の共有に成功し、大きな変革を成し遂げた。情熱の伝播、共感の連鎖による成功。

4. 受け取れる球を投げ続ける。

目的実現の為に周囲に様々な要求することになるが、相手が可能と思える内容(難易度)の要求でなければ考えてもらえない。相手、状況に応じて受け入れてもらえるレベルを考慮して意思、要求を伝え続けることが必要。

5. 具体的な結果を少しずつでも見せる。

周りを巻き込んでいく為には小さな結果でも見せ続けることが必要。実担当のモチベーションを維持するためにも小さくても結果が出ていることを明確することが重要。

6. 目の前の一步を確実に進むことをやり続ける。

長期間を要する難易度が高い目標を実現するためには先を見過ぎず、目の前にあることを確実にこなしながら進めていき、発酵熱のような情熱を持ってやり続けることが必要。

■□今回の学び ひとことでいうと■□

目標に対して一歩ずつ確実に進んでいき、やり遂げていく事により、周りを変え、巻き込み、大きな流れを作っていくことの重要性が今回の学び。企業と市では目的は違うが、リーダーとして長期的な視点と信念(情熱)を持ち、短期的な結果だけで物事を判断せず、物事をやり遂げることの重要性は共通だと思いました。多くの企業では選択と集中を迫られており、また、短期的な損益に囚われやすい状況にある為、取捨選択を間違えず、苦しい時でも諦めず続けていく事により、将来の成功を作り出す思考、信念を持ち続けなければならないと感じました。



■□感想■□政治家の方と直接接したことが無かったため、中貝市長がどのような話をされるのか興味深かったが、市民に距離を感じさせない穏やかな市長という印象でした。(穏やかな中に強い信念) 講義はキーメッセージが分かりやすく、また、豊岡市に行ってみようと思わせられてしまったことに素直に感動です。もうすぐカニも出始めるとしますので12月か1月に豊岡市に行ってみようと思います。